

ひまわり

宮崎社会保険病院
病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1
TEL.0985(51)7575
FAX.0985(53)8821



ごあいさつ

青い海と空、きらきら輝く太陽の季節、宮崎らしい季節の到来です。

看護師の多くが経験するリアリティショック、このまま看護師を続けていってよいのだろうか悩んだ新人たちも、一人前に向かって走り出しています。

看護職員研修は看護実践の基礎を形成するため重要で、当院も新人研修には力を入れており、集合教育では入職前、1・2・3・6・9ヶ月目、1年目終了時、またプリセプターシップ制、部署でのOJT教育等を実施しています。

院外研修では、県看護協会の研修「新人ナースへの応援」に県内各地から多くの看護師が受講し、悩んでいるのは自分だけではない、先輩や同僚が支えてくれているのだと気づき、元気をもらって帰ってきました。

5月病からさよならをして「こころの風邪」を引かなくてすんだのかなと思います。

質の高い看護・心のこもったケアをモットーに、地域医療の柱の一つとして私たち看護師は邁進していきたいと考えています。

看護局長 岩本 玲子

ご紹介します！ 社会保険病院の診療科

今回は、

放射線科

です。

開業医の皆様には日ごろから当院の放射線科へ、患者様のご紹介を頂き有り難うございます。この欄では放射線科の紹介をさせていただきます。

放射線科は昭和62年にCT装置が当院へ導入された時に、放射線科医師(1人)が常勤医として勤務したことに始まります。その後、平成6年に磁気共鳴画像診断装置(MRI)、平成9年に核医学診断装置(RI)が導入され、平成11年からは健診センター(センター)の仕事も兼務するようになり、現在では放射線科医4人(3人が専門医)で業務を行っています。

放射線科での診療としては、ヘリカルCT、MRI、RI、超音波診断装置(US)などを用いて各診療科の検査に当たるほか、院外からの紹介患者の画像診断を中心に行っています。その他、センター関連として検診で異常を指摘された患者の精密検査を行っています。これは主に胸部X線検査での異常に対する胸部CT(宮崎医学会誌18:188,1994参照)や腹部腫瘍などに対する腹部CT、MRIなどが主なものです。また、消化管の精密検査として胃や大腸の内視鏡検査をセンターや内科医師と分担して行っています。さらに、平成4年からCTによる肺癌検診を県内で初めて開始し(宮崎医学会誌 28:8,2005参照)、平成11年から脳ドック(MRI・MRA)、平成16年からは脊椎ドック(MRI)も行っています。

放射線科の業務は画像診断が主ですが、治療として肝臓がんなどに対する動注化学療法や血管のIVR、消化管内視鏡によるポリペクトミー、腫瘍のEMRなどを行っています。

平成16年度の検査件数としては、CT(4372件)、MRI(2507件)、RI(278件)、US(406件:放科のみ)、血管造影・IVR(176件:心臓除く)でした。依頼検査としてはMRIが最も多く、全MRI検査の約半分を占めています。

次に、放射線科スタッフを簡単にご紹介します(若い順)。

中原真由美医師は平成7年に宮崎医大を卒業し、古賀総合病院や宮崎市郡医師会病院などの勤務のあと平成14年7月から当院に勤務しています。専門は画像診断と消化器内視鏡ですが、当院ではCT、MRI、RI、USなど全ての領域の画像診断に頑張ってもらっています。しかし、残



中原真由美 医師

念なことに(病院としては)、身重の体になり今年8月いっぱいまで退職することになりました。なお、中原先生の後任は宮田裕子先生の予定です(平成7年宮崎医大卒)。

伊藤泰教医師は平成4年の宮崎医大卒業で、黒木病院や藤元病院を勤務のあと平成14年4月から当院に勤務しています。専門は画像診断のほか、消化器内視鏡診断や内視鏡下での治療です。現在は主にendoscopistとして内視鏡室で活躍しています。



伊藤泰教 医師

結城康弘医師は昭和60年鹿児島大卒業です。県立病院や大学勤務のあと平成11年6月から当院で勤務しています。専門は血管造影・IVRで、江南地区では唯一のangiographerです。平成15年に新しいDSA装置が導入され、それを駆使して血管造影・IVRに励んでいます。また、血管造影室もCT室の隣になり、CTAも簡単にできるようになりました。当院にはIVR適応の多い肝疾患(HCC)が少ないので、もし血管造影やIVRの適応がありそうな患者さんがいましたら、ご紹介をお願いいたします。



結城康弘 医師



杜若陽祐 医師

私(杜若陽祐)は昭和55年に宮崎医大を卒業し、大学勤務のあと平成12年4月から当院に勤務しています。専門は画像診断で、特にCT・MRI診断が中心です。以前よりgeneral radiologistを目指していますが、平成10年にUCSD放射線科のosteoradiology sectionで勉強していたため、整形外科領域の画像診断がsub-specialityということになっています。また、平成15年4月からは健康管理センター長をしており、最近胸部X線や胃透視の写真を飽きるほど見えています。

以上、簡単に当院放射線科を紹介致しました。放射線科では院内業務のほか、地域の画像診断センターとしての役割を担って行こうと考えています。開業医の皆様には気楽にご相談され、当院放射線科を利用して頂ければ幸いです。今後ともよろしく願いたします。

連絡先: 宮崎社会保険病院放射線科
(電話51-7575:内線260、内線276)

(文責: 杜若陽祐)

地域医療を 支える

いつも、江南医療連携の会や症例検討会に参加させていただきありがとうございます。自分の専門の整形外科をはじめ内科・外科・形成外科や検診センターの症例に新しいものを感じ、オールラウンドのかかりつけ医をめざして勉強をさせていただいております。実際、専門外で知らないことも多く、各科の進歩に感動させられることも多々あります。

当院は、2001年5月に整形外科診療所として新規開業いたしました。宮崎市の北部のJR宮崎神宮駅近く下北方通線沿い、大島町国草にあります。現在、開業して4年になります。“一期一会”を、座右の銘に、患者様、一人一人との話す時間を大切に診療しています。

私と宮崎社会保険病院との関係は、旧江南病院の故上塚満先生との出会いから始まります。平成元年、上塚先生のもとに、勤務させていただいた時からのことです。帖佐悦男先生（現宮崎大学医学部整形外科教授）と共に、いろいろと勉強させていただきました。仕事をはじめ充実した毎日でした。

平成4年、幸運にも旧江南病院に再度勤務する機会に恵まれ、上塚先生と一緒に働ける喜びを感じました。十数年来血液透析をされていた先生は、惜しまれながらも12月に亡くなりました。

当時の上塚先生は、紹介のどんな症例であろうとも絶対に断ることはありませんでした。整形外科のベッドが満床でも、病院のベッドが満床ではないと受け入れていました。病院全体を把握して指示していたように思います。

現在の私の診療は、恩師上塚満先生を目標に頑張っ



院長 作 良彦

作整形外科

〒880-0824 宮崎市大島町国草158-2
TEL 0985-60-0765
FAX 0985-60-0766

ています。一見、上塚先生の診療とは違うように見えるかもしれませんが、そこに流れるヒューマニティーはおなじものだと思っています。私の整形外科医としての理想像です。

ここ数年、病診連携というシステムの下に、各病院主導で連携プログラムを提供していただいています。しかし、私どもかかりつけ医と自負している医師にしてみれば、やっとできた医師-患者関係を、専門医紹介という形で依頼するわけですから、紹介先の対応によっては批判の対象にも成りかねません。紹介先の先生の人格や実績や診療姿勢の見えるシステムであって欲しいと思います。紹介後の経過報告などしていただければと思います。

私どもの地区は、診療所の過密地区でかかりつけ医としての機能は、どこまで果たしているか分かりませんが、来院していただいた患者様には、誠意一杯のことをしたいと思います。

われわれが地域医療を支えていく上で、かかりつけ医と病院との関係は非常に大切なものであり、お互いの顔の見える立場であって欲しいと思います。江南医療連携の会がますます成長・発展していくことを希望いたします。

江南医療連携の会 (症例検討会)へどうぞ

今後の予定

9月(9月16日(金))
10月(10月20日(木))
11月(11月17日(木))

《6、7月の症例検討会実施状況》

6月 (6/23実施)

- ・当院における緊急手術症例について
- ・対応に苦慮した右手切断外国人患者の1例
- ・宮崎社会保険病院 形成外科紹介
- ・初診時確定診断が困難であった骨折症例
- ・縦隔腫瘍の画像診断

7月 (7/14実施)

- ・2005年前期胃癌症例について
- ・透析患者と骨病変について
- ・宮崎社会保険病院 整形外科紹介
- ・大腿骨頸部内側骨折に対するハンソンピンシステムによる治療
- ・宮崎市民胸部検診の検討(2002~2004年度)

宮崎社会保険病院 外来担当医一覧表

診療科	診療	曜日					
		月	火	水	木	金	
内科	新患	渡邊 玲子	松本 充峰	松尾 剛志	西 桂子	平山 直輝	
		稲垣 浩子	松尾 剛志	高木 信雄	平山 直輝	川崎 由香	
	再来	平山 直輝	石川 正	石川 正	石川 正	松尾 剛志	
		高木 信雄	稲垣 浩子	渡邊 玲子	渡邊 玲子	稲垣 浩子	
			平山 直輝	川崎 由香	川崎 由香	松本 充峰	
			今村 卓郎	北村 和雄		渡邊 玲子	
	特殊再来(午後)			高木 信雄	高木 信雄	稲垣 浩子	
外科		白尾 一定	貴島 文雄	白尾 一定	秦 洋一	白尾 一定 (乳腺・甲状腺) 貴島 文雄	
	ストーマ外来(午後)	貴島 文雄 (第1、3月曜)					
	NST外来(午後)			白尾 一定 (第3水曜は除く)			
形成外科	第1 診察室	大安 剛裕	伊木 秀郎	大安 剛裕	高橋 国宏	大安 剛裕	
	第2 診察室	岡 潔	岡 潔	高橋 国宏	岡 潔	伊木 秀郎	
整形外科	第1 診察室	本部 浩一	有住 裕一	本部 浩一		本部 浩一	
	第2 診察室	江夏 剛		吉川 大輔	江夏 剛	有住 裕一	
	初診	有住 裕一	本部 浩一	江夏 剛	吉川 大輔	江夏/吉川 (10:30~)	
放射線科		結城 康弘	杜若 陽祐	杜若 陽祐	杜若 陽祐	杜若 陽祐	
プライマリーケア(午後)		川崎 由香 (西 桂子)	稲垣 浩子 (平山直輝)	渡邊 玲子 (松本 充峰)	松本 充峰 (渡邊 玲子)	西 桂子 (川崎 由香)	

*都合により変更になる場合があります。

(平成17年7月1日現在)

受付時間 8:30~17:15 (但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

編集後記

7月に入り、連日のように雨が降っておりますが『恵みの雨』と喜びながらも、早く梅雨が明けないかと待ちわびております。

さて、今回5号目となります。広報誌「ひまわり」も皆様のご愛読により、創刊1年の節目を迎えることができました。発行に伴いご協力いただいた各医療機関の先生方にもこの場をお借りしてお礼申し上げます。

今後とも皆様からのご意見ご指導を賜りながら、さらなる内容の充実を図っていきたく考えておりますので、宜しくお願いいたします。

最後に、江南医療連携の会・症例検討会のご案内もさせていただきますので、ご参加お待ちしております。

ご意見・お問い合わせ

宮崎社会保険病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

(地域医療連携室長:白尾一定 専任担当:立山奈月)